

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 2年 10 月 18 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	469720022
法人名	有限会社 南の太陽
事業所名	グループホーム 南の太陽
所在地	鹿児島県肝属郡東串良町新川西1356番地 (電話) (0994) -45-7373
自己評価作成日	令和2年9月28日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年10月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・利用者様のADLの低下が著しい中、それぞれの思いや言葉を大切に可能な限りの要望にお応えできるよう、また、その人らしい暮らしづくりのお手伝いをしながらご家族や地域とのつながりを大切にしております。

・毎月、月間目標を立て職員間で意識しながら毎月取り組んだり、毎年度、事業計画書やキャッチフレーズを職員で考え作成し掲げています。

・医療の連携では訪問看護師の毎週の訪問により体調管理の徹底や情報共有を円滑に行いながら利用者様の状態を適宜報告し体調の変化など早期発見できるよう努め入退院の予防を行っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、東串良町役場から数km程離れた柏原海岸に近い自然豊かな農村地区に、平成26年8月に開設されている。広い敷地に同法人の住宅型有料老人ホームやデイサービス、ホームヘルプステーション、居宅介護支援事業所と併設されており、防災訓練や秋祭り、職員研修、ボランティアの慰問等は合同で実施するなど密に連携が図られ、協力体制を構築している。周辺には、個人住宅や牛舎等が点在しており、ホームの居室からは、広い田園風景が望め、利用者は四季を感じながら平穏に過ごしている。

管理者及び職員は理念に沿って、利用者の尊厳や人格、想いを大切にしながら、優しく寄り添ったケアに努めている。日頃のケアの中や面会時、電話等で利用者や家族の意向や要望等を把握して、サービスの改善を図っており、家族との協力体制や信頼関係が築かれている。介護度1～5の利用者が入所中で、心身の状態は様々であるが、各利用者の状態や生活習慣等に十分に配慮し、趣味の取り組みや余暇時間の過ごし方など個別の支援も工夫して、生きがいのある生活となるような支援に取り組んでいる。

ホームの近くに大きな川があるため氾濫など水害に対する意識は高く、定期的な災害訓練のほか法人全体で水害に特化した避難等の訓練を実施している。また、日頃からマスコミによる災害の報道を基に意見を述べ合って認識を共有し、台風時には勤務職員を増員して利用者の安全や避難に備えている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は職員が目が見やすいようにリビングに掲示してある。年度ごとにキャッチフレーズを全職員で考えている。	利用者が地域や家族と触れ合いながら、その人らしい暮らしとなる支援に取り組んでいる。理念は目に付きやすいリビングに掲示し、ケアの中や申し送り時に振り返りや意見交換を行って意義を共有し、実践に努めている。また、本年度のキャッチフレーズにも「自分らしく過ごせる時を地域と共に」を掲げ充実した取り組みを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	利用者様の住んでいた地区の知人などが訪問面会に来て下さる。	日頃の散歩や買い物、通院時には地域の人と挨拶や会話を交わし、町民運動会や棒踊り等のイベントを見物している。法人主催の秋祭りには家族や住民多数の参加が得られ、入所を想定しての施設見学やボランティアによる踊り等の慰問を受け入れ、渡り廊下で往来できるディサービスや有料老人ホームの利用者とも交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症カフェや慰問等で理解や支援を行いたいところでしたが、全て中止となっております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員や行政の職員の参加は開催月に出席してもらっている。地域住民も参加していただき意見交換できている。家族の参加の理解がしてもらえず断られているのが現状である。	会議は年6回定期的に開催され、民生委員や住民代表、町役場職員、地域包括支援センター等が出席して、ホームの現況や利用者の状況、ヒヤリハットや防災に関する報告を行い、委員からはケアに関する質問や地域の情報等が出されている。家族の出席が少なく、今後の課題である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議や加算、指定更新などの際に助言などをもらい連絡を密にとっている。また、災害時にも連絡を密にとっている。	町役場や包括支援センターの職員には、運営推進会議への出席でホームの現状を理解してもらっている。介護保険の更新や各種制度の活用や報告に関すること、運営や利用者に係る相談等を電話や窓口に向いて行い、指導や助言をもらうなど、かねてから協力関係を築いており、行政主催の会合や研修会にも積極的に出席してサービスの改善に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	3ヵ月に1度の身体拘束委員会を開催し全ての職員が身体拘束についての知識を得て取り組んでいる。言葉による拘束も気配りしている。夜間のみ玄関を施錠している。	身体拘束の廃止については、毎年度、事業計画書に明記すると共に、計画的な研修の実施で認識を共有している。日頃の業務の中や申し送り、職員会議等でケアを振り返り、適正化を図る委員会も年4回開催して拘束の無いケアに取り組んでいる。不適切な言葉遣いにはその都度、注意し合って改善に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会などで知識を得て防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	各制度による支援者がいない事もあり学ぶ機会を設けていないが今後、研修会などを実施していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際に契約書・重要事項説明書を取り交わし対応している。細かな料金の説明は書面を通して行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様やご家族からの意見や要望はその都度改善しています。また、面会の際に意見や要望などを尋ねています。	管理者および職員は、日頃のケア中、利用者の会話や仕草、独自のサイン等で利用者の意向を把握し、家族からは面会や行事、家族会等で意見や要望を聞き取るように努めている。出された要望等は申し送りや職員会議等で検討し、法人本部とも協議してサービスの改善を図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や個人面談などで意見などを聞き取り必要時は役職員会議で取り上げています。	管理者及び職員は、気軽に意見を言い合える信頼関係を構築しており、日頃の業務の中や申し送り、年2回の人事考課時の面談、必要に応じて個人の面談も実施して、要望や意見を把握しており、職員会議等で協議して改善に努めている。スキルアップを図る研修の実施や資格取得へのバックアップに努め、有給休暇の取得の促進や個人的事情にも配慮して勤務シフトを作成する等、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。外部研修の受講料の助成制度など、給与体系も確立されて職員の就労意欲向上に繋がっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回人事考課を行い、個々の現状と目標管理を行い努力や実績など踏まえ評価している。また、法人内で他事業所の意見なども聞き再評価をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内や法人内、外部研修先への参加受講の機会を設け全職員が知識向上できるように参加を促している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設の研修会や医療機関主催の認知症研修などを中心に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に現在の生活の場をほうもんしたり、ケアマネージャーや家族、医療機関からも情報をもらいつつ本人の言葉を傾聴しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の思いや要望など気軽に話ができる環境を整え、答えられる範囲にて伺うようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時にご家族からの要望や意見を取り入れるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様が出来そうな軽作業を行ってもらっています。昔の知恵や習慣なども聞きながら支えあう関係性を築いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月発行しているひまわり新聞や面会時、電話やSNSなどで日々の様子を伝えています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近隣の方の面会や携帯電話などで友人知人と会話を楽しんでいる。ただき関係を途切れないようにしています。	入所時の聞き取りや日頃の利用者との会話、家族からの情報等で馴染みに関する情報を把握し、体調に配慮しながら散歩や買い物、通院、外食、地域行事、一時帰宅等を家族と協力しながら取り組んでいる。通常は家族や友人等との面談や電話・手紙の取り次ぎ等を積極的に行い関係の継続を図っているが、現在は新型コロナウイルス感染症予防のため、面会や外出は自粛中である。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者様がいれば近くに座席を移動したり、洗濯物などを畳む作業をしていれば手伝うと手を差し伸べたりとあります。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了していても、地域でお会いした時には声を掛けて頂き近況報告などをして下さります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常のケアの関りから、声かけしたり、表情や所作で思いや暮らしの希望の把握に努めています。	利用者の思いを、日頃の会話や独自のサイン等で把握し、自己決定を大切にしたい利用者主体の暮らしとなるよう家族の意見も聞きながら取り組んでいる。利用者が希望する趣味（新聞や町広報誌を読む他）や家事（お盆拭き等）の取り組みも、残存機能や体調等に配慮しながら個別に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報提供をもとに利用者様とのコミュニケーションで情報収集しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りを活用し、利用者様の情報を共有しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人及び家族の要望を聴取し要望や思いをもとに関係職種と共有し具体化した内容の計画を作成しています。モニタリングに関しては3か月に1度行っているが、状態に応じてその都度見直し作成している。	利用者や家族の意向を把握し、主治医及び看護師の指示やモニタリング等での職員の意見を基に、残存機能や生きがいにも着目した利用者主体の計画を作成している。ケアの実施状況は、申し送りノートや生活日記等で共有し、利用者の状態変化に対応した介護計画で改善に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様の状態の変化や職員の気づきなど個々の生活日記や申し送りノートに記入しさらに口頭での申し送りを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様の個々のかかりつけ医で継続して往診受診してもらっています。入院期間中などはご家族や相談員と連絡を密にし早期退院ができるよう努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期・不定期にボランティアの受け入れ訪問していただいています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族の希望する医療機関にて往診や受診を定期的に受けられるよう取り組んでいます。また訪問看護事業所と契約をし定期的な健康管理も行われています。	入所前の病歴や受診状況を把握し、本人や家族が希望する医療機関での治療を支援しており、殆どが入所前の主治医を継続している。2医療機関の定期的な訪問診療や通院が実施され、法人の看護師の定期訪問により利用者の健康管理や感染症予防の助言等が得られている。他科受診も家族及び職員が協力して同行しており、医療機関との連携も密に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回の訪問看護師による健康チェックをしていただいています。また、法人内の看護師とも連携を取り緊急時や状態変化等報告し早期に対応できるようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は出来るだけ立ち合い施設での生活歴等をお伝えしています。長期入院によるADLの低下や認知機能の低下など避ける為、早期退院できるように医療機関と連絡を密にしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に看取りの際の意向確認書を説明同意をもらい、また1年後に取り直しを行っています。	重度化や看取りに対する研修を実施してスキルアップや職員の不安感の軽減に努めている。利用開始時に「看取りの際の急変時対応について」で説明して同意を得ており、以後、毎年度、意向の再確認も行っている。重度化した時点で家族と十分な話し合いを行って、可能な限り家族が希望されるケアに取り組んでおり、過去に看取りも実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアル、急変時の連絡体制等作成し定期的に職員会議で講習を行い発生時に備えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練を実施している。水害時の避難も法人全体で訓練に取り組んでいる。家族からの協力のお言葉はもらえているが地域からは特にはない。</p>	<p>消防署の協力を得て、年2回夜間発生も想定した火災中心の災害訓練を隣接の住宅型有料老人ホームと一緒に実施し、避難や通報、消火器等の取扱いも研修している。河川に近い水害時の避難訓練も法人全体で実施し、災害に関する報道を基に意見交換するなど災害に対する意識は強く、本年9月の台風時には早めに町役場へ避難している。スプリンクラーや自動通報装置が設置され、災害発生時の食糧、飲料水、介護用品等は法人本部で一括備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定期的には不適切な言葉や対応がないか確認をしております。施設内での研修も実施して甥rお互いに指摘できるよう接遇についても意識しています。	内部研修の実施で周知を図り、日頃から利用者の人格や尊厳を損ねる事の無い言葉かけやケアに努めている。利用者の心身の状態やこれまでの習慣、自己決定に配慮しながら、利用者主体のケアに取り組んでおり、慰問に訪れるボランティアにも説明して理解を得ている。ホームはプライバシーが確保された構造で個人記録等も適切に取り扱われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	基本は利用者様に決定してもらいレクリエーション活動なども自己決定してもらい参加の有無を促しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの一日の流れを尊重しながら興味のあることや個々の年齢や身体状態にも配慮しながら暮らしを支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散髪を希望される際には訪問美容師を依頼しています。爪切りや髭剃りなどの身だしなみも声かけ促し実施しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節に合わせた食事やお菓子作りなど設けています。食後の後片付けなどでもできる範囲でお願いしています。	形態、栄養バランス、アレルギー、季節感等に配慮したメニューを法人の栄養士が作成し、ご飯以外の副菜は隣接の住宅型有料老人ホームから調理した物が届いている。行事食（おせち、彼岸等）や月2日の手作りのおやつ（団子、ふかし芋他）、家族との会食、バイキング形式等、食事が楽しみなものになるよう工夫し、職員も一緒に歓談しながら食事している。ホームでおやつを作る際は、利用者も調理を手伝い、日常のお盆拭きや片付け等を楽しみながら行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は記録に残し把握しています。特に水分補給ではお茶が好まない利用者様に対しては主治医の確認を得てから他の飲み物を提供したりとしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、全員の口腔ケアを実施しています。不定期にて歯科衛生士が訪問し、口腔内や義歯の確認、職員への助言等して下さります。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中は、トイレでの排泄を基本とし夜間ポータブルトイレを利用したりリハビリパンツを使用するなどしています。定期的な声掛けにて排泄の失敗をしないよう努めています。	利用者の排泄パターンや習慣を把握し、昼間は可能な限りトイレでの排泄を支援している。心身の状況に応じた介護用品やケアの方法を、介護計画に反映させて改善に取り組んでおり、夜間のみリハビリパンツ使用の改善例もみられている。便秘の予防に食物繊維や水分の摂取、運動量等に配慮し、必要に応じて主治医の指示により整腸剤も服用して改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便確認を行い、便秘が続かないようにしています。整腸剤や下剤なども排便の状況に応じて調整しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の午前中に入浴の支援を行っていますが、本人の希望や体調に合わせて午後からも実施することもあります。	基本週2～3回の入浴を計画している。毎朝、全利用者に清拭を行い排泄時の汚染等には、その都度、清拭や入浴で清潔を保持している。予定外の入浴希望にも柔軟に対応し、好みの温度や時間、習慣に配慮してゆっくり楽しんでいただき、入浴後は皮膚疾患の手当や水分補給を行っている。入浴をためらう利用者には、無理強いしないで、時間や職員の変更、声かけ等を工夫して主体的な意欲を待つように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々がいつでも自由に休息入眠できるように習慣を把握しながら支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の薬情ファイルをはかんとし、ありいつでも確認、共有できるようにしています。内服の変更の際は、状態も合わせてご家族様や訪問看護師へ報告しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 振り仮名や昔の思い出の話を聞くように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯ものやお盆拭きなどのお手伝いをしてもらったり、音楽を流したり時代劇を見てもらったりと個々の好きな物を把握し支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今年に入ってからは外出支援が出来ていませんが、気候をみながら施設外の散歩を実施しています。	利用者の重度化に伴い外出への要望は減少しているが、心身の状態や天候等に配慮しながら周辺の散歩や日光浴等を行い、墓参や一時帰宅、美容室での整髪、外食等を家族の協力を得ながら取り組んでいる。初詣や季節の花見、ドライブ、地域のイベントの見学なども毎月計画的に実施して、利用者の楽しみとなっているが、現在は新型コロナウイルス感染症予防のため、外出は控えてホーム内でのレクリエーションを工夫して気分転換を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持には制限はしていませんが職員の判断でご家族の了承のもと預かり管理をしています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族や知人との電話や手紙のやり取りに制限はなく、可能な限り自由にやり取りを行っています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者様の居室や共同スペースは常に清潔を心がけています。共有スペースは特に排泄臭や感染予防に配慮し消毒や空調管理を徹底しています。</p>	<p>廊下や玄関、リビング等の共有スペースは、明るく開放感に満ちて随所に活花や利用者の作品、絵画等が飾られ、また、対面式の台所からは調理の音や匂いが伝わるなど、家庭的な雰囲気である。リビングにはテーブルセットやテレビ等が利用者の利便性に配慮して設置され、一段高い畳のスペースは通常は憩いの場に、また、イベント時のステージとして活用されている。清掃や空調、衛生管理等も徹底しており、利用者は好みの場所で平穩に過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テレビ近くにソファを配置しテレビ観賞したり自室で本を読まれたりなど個々にあった自由な空間を過ごしていただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>持ち込みの家具や馴染みの物を持って来ていただいています。居室にコルクボード設置し写真や手紙などいつでも見れるようにしています。</p>	<p>畳部屋とフローリング仕様の2種類の居室は腰高窓で明るく、利用者の状態や意向に配慮して決められている。いずれの居室も余裕のある広さでエアコン、ベッド、洗面台が備えてあり、利用者の状況に配慮しながら整頓や清掃等を支援し、家庭同様に快適な生活の維持に努めている。利用者は愛着のある小物や使い慣れた寝具、テレビ、家族写真等を持ち込み、また、自分の作品や長寿祝いの額も飾って、個性を生かした居心地の良い居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>リビングやトイレ、浴室に手すりを設置し、段差や障害物での移動の障害とならないように配慮しています。自分の部屋が分かりやすいように名前を掲示しています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない